

# 水は生命の源です。



人も海や川とともに生き、進化しました。しかし、  
どれだけ科学が発達しても、人は海や川を支配することはできません。

人は、地球やいっしょに暮らす動物や植物たちに、  
あまりよくないこともしてきたようです。

大切な水もいよいよ足りなくなってきました。

# 地球は、かなりあぶないのです！

エネルギーもたくさん使い、水が汚れ、  
大自然の木を切り、魚もいっぱい採りました。

「ざぶん」という波や水しぶきの音を聞いたことのある小中学生の皆さん、  
水の恵みとか、命の大切さについて考えましょう。  
体験したことや、想いをぜひ書いて下さい。

あなたの想いが、かけがえのないこの大切な地球を、  
そして、未来の人類を救うかもしれません。



## 2006年度の作品募集中

# ざぶん賞

# ざぶん賞2006(第5回) 小中学生の文章募集

## 募集内容・水や命について考えよう。

テーマ/生命の源である、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙。たとえば  
・海や川、湖を美しく保つとか、きれいにするには ・水を大切にするには ・海や川と一緒に暮らしている私、  
・水のあるところに行って楽しかったこと、怖かったこと ・水と命について ・水や自然環境と人間の暮らしの未来について  
・水のあるところで働く人や遊ぶ人の事故をなくすにはどうしたらいいか。 ・水を通じて経験した家族や友人の大切さについて  
・未来の港やダム、またその近くの町について ・「海(川、湖)に思う」、「海(川、湖)とわたし」など、自由に。  
参加資格・字数など/全国の小中学生・未発表作品で、なるべく1,200字以内に(上限は2,000字、400字原稿用紙なら5枚まで)  
締め切り/2006年9月11日(消印有効)

## 賞・全員に認定証を。入賞するとアート作品になります。

応募者全員に「ざぶん大使認定証」を発行。  
入賞文章には、画家(西のぼる氏、原田維夫氏、百鬼丸氏、  
蓬田やすひろ氏その他)や工芸作家がアート作品に仕上げ、贈呈。  
審査、選考/作家 安部龍太郎氏(学年、ジャンルを問わず選考)  
賞/ざぶん大賞(最高賞)1作品、準ざぶん大賞 6作品以内、  
ざぶん環境賞、ざぶん文化賞、特別賞、奨励賞数点、  
発表、表彰式/2006年11月予定。

## 応募のしかた

郵送応募方法/一般の原稿用紙、またはA4用紙になるべくタテ  
書きで文章を書き、題名、名前(ふりがなも)、学校名、学年、性別、  
連絡先(学校の場合はご担当の先生のお名前も)、住所、電話番号、  
を添えて郵送または電子メールで。(電子メールの場合は原稿  
データを添付し、件名をざぶん賞として送付を)  
郵送/〒920-0362 石川県金沢市古府1-197  
ざぶん賞実行委員会事務局まで  
電子メール/ info@zabun.jp まで

夏休みや、授業のテーマで書かれた作品も、  
学校でおまとめいただき、ご応募を。  
一人でも多くの皆さんからの作品を、  
お待ちしております。



奨励賞の皆さんに贈られた  
工芸作品、「水の想いの宝  
箱」。作文が中に。2005年  
は50作品が選定。



応募者全員に贈られ  
る認定証。それぞれの  
応募作品が編集され、  
挟み込まれています。  
(写真は2005年版)



松並 百合愛

2005年準ざぶん大賞  
のアート作品。  
装画は百鬼丸さん。

応募の際に発生する諸経費は負担しません。発送いただいた書類はすべて返却しません。また応募文章の不慮の破損や紛失の責任は負いません。入賞者以外への告知はいたしません。入賞および入選作品の出版権、および著作権は、主催者に帰属します。募集内容や審査要項など一部変更することがあります。  
主催/ざぶん賞実行委員会(会長 筑紫哲也) 問合せ先 事務局 電話076-249-7353  
後援(2005年度)/文部科学省、国土交通省、環境省、水産庁、海上保安庁、他全国の自治体や関係団体など

●ざぶん賞は、生命の源、水を通じて、命や自然の大切さを考えようというプロジェクトです。

<http://www.zabun.jp/>

